

# だいせんの偉人先人たち

## ねもと つうめい 根本 通明

【分類】 <sup>きょういくしゃ</sup> 教育者

【生没年】 1822年 ~ 1906年

( <sup>ぶんせい</sup> 文政5年 ) ( <sup>めいじ</sup> 明治39年 )



大仙市刈和野にある頌徳碑

<sup>ぼくまつ</sup> 幕末から <sup>めいじ</sup> 明治の <sup>えきがく</sup> 易学・<sup>かんがくしゃ</sup> 漢学者で、<sup>かりわの</sup> 刈和野出身。 <sup>ほんこうめいとくかんきょうじゆ</sup> 藩校明德館教授から <sup>がくちょう</sup> 学長となり藩の教育行政をつかさどった。1873年東京に移住し1886年には天皇に学問を指導する <sup>ごしんこう</sup> 御進講となった。1896年には <sup>ていこくだいがくぶんかだいがく</sup> 帝国大学文科大学（現・東京大学）教授となり1899年には秋田県で初めて <sup>はかせ</sup> 文学博士となった。墓所は <sup>さたけ</sup> 佐竹家の <sup>ぼだいじ</sup> 菩提寺 <sup>とうきょうそうせんじ</sup> 東京総泉寺にあり、故郷の刈和野には、<sup>しょうとくひ</sup> 頌徳碑が建てられている。

出典 『大仙市どど〜んとまるごとふるさと探訪ポケットブックポケットマップ』2018、2019、大仙市教育委員会／編  
『先人の歩み中』1979、大曲市仙北郡校長会／編